

西東三鬼のふるさと俳句投句函

平成三十年十二月 入選句

特選

秋日濃し三鬼の街と知りてより
川霧や城下を這いて古墳まで

京都府 米澤 響子
鏡野町 高原 喜久子

一般の部

大空に穴をあけたる朴落葉
散り紅葉忠政像に十字見ゆ
野仏や小菊を抱きうつらうつら
この径は未知の領域茸狩
冬めくや投網の中の雑魚の綺羅
石崖の角より見ゆる冬の星
雲海の底より聞ゆ宮太鼓
石垣に一人たたずむひがんばな
城跡のイロハモミジや踊り来る
かやぶきに舞いおりているあかとんぼ

津山市 岡田 邦男
滋賀県 赤木 和代
津山市 高木 明子
津山市 妹尾 武志
倉敷市 綱島 美真理
津山市 中島 正和
津山市 中村 けんた
兵庫県 山祿 美紀
鏡野町 藤田 明子
愛知県 位田 仁美

ジュニアの部

どんぐりを集めてまわった衆楽園
桜の木まださかぬかなまちどおしい
紅葉のすき間にもれる陽の光
おいもほりみんなでとっておいしいな

倉敷市 井上 まるねこ (八才)
東京都 内藤 恒河 (九才)
岡山市 中村 心 (十一才)
津山市 寺坂 かのん (七才)

(今回投句数 二百二十八句)

